

教科	科 目	単位数	年次	学 科	区分	使用教科書
工業	製 図	2	3	デザイン	必修	デザイン製図 実教出版

1. 学習の到達目標

製図は製品を作る上で必要な「言葉」です。平面、立体を問わず、正確な作図法を理解することは、デザインの勉強をする上でも必要な技能です。多角形や円の図法は、平面構成をする上で必要であり、『実習』にもつながっていきます。基礎製図は『陶磁器デザイン』や『デザイン材料』、『課題研究』での立体制作を学習する上で必要です。この技能が身に付いているかどうかで作品制作の幅に差が出てきます。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	基礎製図における基本的な規格、作図法等を知り、図面を正確に理解する能力を身につけている。 製図の基本的な表示技術を身につけ、定規、コンパスなどの道具を使いこなすことができる。	製図の過程で工夫し、作成した図面（平面図、三面図）を読み取る能力を身につけている。	製図（平面図法、基礎製図）に関心を持ち、その基本的な知識と技術の修得に意欲的に取り組む態度を身につけている。
評価の方法	定期考査 課題・作品	課題・作品	授業態度

3. 教科からのメッセージ

立体図法は練習問題を繰り返し解くことで立体的思考法が身に付くと思います。根気強く学習臨みましょう。平面図法は作図法の手順をしっかりと覚えることが大切です。復習を繰り返しながら作図法を覚えられるよう、ゆっくり進んでいきます。黒板に作図法を解説するコメントを書いて丁寧な授業をします。わからないときは遠慮無く質問してください。基礎製図は「ものづくり」をしていく上で図面を読む、かくということができるようにならなければならないことを学んでいきます。内容は最低限に絞っていますので、繰り返すうちに身に付いてきます。

4. 年間指導計画

月	大項目	中項目
4	線の練習	線の種類 太さ 直線と曲線の接続
5	立体図法	第三角法（基礎製図検定に向けての学習）
6		立体図から三面図へ
7		三面図から立体図へ
7	立体図法	基礎製図検定練習問題
8		
9		
10	平面図法	直線と角に関する図法（等分割法）
11		平面に関する図法（正多角形）
12		円に内接する図法（正多角形）
1	製図のすすめ方	曲線に関する図法（楕円形、卵形）製図の順序
2	製図の規約	尺度および線と文字
		寸法記入（寸法線、寸法補助線、寸法数字など）